

宮城県消費者教育推進計画(第2期)実施状況(令和3年度)

計画期間(令和3年度~令和7年度)

1 ライフステージ・場ごとの消費者教育

施策	推進	取組	事業内容・実施状況	担当課等	自己評価等																																	
2 自立した消費者の育成	(1) ライフステージ・場ごとの消費者教育	① 各学校段階に合った副教材の作成や授業支援等	<p>○インターネットの安全利用について啓発を行う。</p> <p>・小学生向け啓発パンフレットの作成</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>作成部数</td> <td>25,000部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・インターネット安全講話の実施</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>出前講座開催回数</td> <td>6回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出前講座参加人数</td> <td>692人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	作成部数	25,000部					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	出前講座開催回数	6回					出前講座参加人数	692人					共同参画社会推進課	<p>【自己評価】 県内の小学6年生を対象として啓発パンフレットを作成し、配布するとともに、学校やPTA等からの要請に応じて出前講座(インターネット安全安心利用講座)を実施し、インターネット安全利用についての啓発活動を行った。</p> <p>【課題と今後の対応】 新型コロナウイルス感染拡大後、学校等の教育機関からの出前講座要請数が減少していることから、より多くの関係機関に出前講座の周知を図っていく。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止</p>			
			対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																														
			作成部数	25,000部																																		
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																	
出前講座開催回数	6回																																					
出前講座参加人数	692人																																					
<p>○多くの教員が消費者教育に関わることができるようオンライン形式も含めた教員研修体制や環境整備を行う。</p> <p>・県立学校へのICT支援員の派遣</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>短期支援(2日間)</td> <td>全校</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>長期支援(1月または2月)</td> <td>6校</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オンライン研修会実施回数</td> <td>4回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	短期支援(2日間)	全校					長期支援(1月または2月)	6校					オンライン研修会実施回数	4回					教育企画室	<p>【自己評価】 担当教員だけでは対応が難しい、きめ細やかな支援をすることで教員との信頼関係が構築され、円滑な支援ができたと考える。また、こうした事業成果を研修会の場や授業の様子の動画配信で市町村教員等とも共有することができ、市町村への横展開を図ることができた。</p> <p>【課題と今後の対応】 ICTの利活用には、教員のICT活用指導力が不可欠だが、文部科学省が毎年実施する実態調査において本県は、改善傾向ではあるものの全国平均を下回っている。国の「GI GAスクール構想」や新型コロナ拡大も踏まえたオンライン教育等ICT活用の重要性が一層高まる等、教育現場の情報化が加速している状況を踏まえ、その対応に必要な主要事務事業として実施していく。</p> <p>【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止</p>												
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																	
短期支援(2日間)	全校																																					
長期支援(1月または2月)	6校																																					
オンライン研修会実施回数	4回																																					
<p>○児童・生徒の個々の実態に応じたきめ細かな指導が可能となるよう社会科、家庭科、生活単元学習、作業学習等において消費者教育を支援する。</p> <p>・障害や発達段階に応じた消費者教育に関する内容を各学校の年間計画に位置づける</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○消費生活講座による消費者教育や金銭教育を行い児童・生徒の「消費」への理解を深める。</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※消費生活講座の実施</p> <p>○消費生活関連のパンフレット、DVD等を活用し、児童・生徒の理解促進を図る</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※消費生活講座の実施</p>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					特別支援教育課	<p>【自己評価】 新型コロナ対応のため外部講師を招聘する学校は少なかったが、児童生徒の障害の状態や発達段階に合わせて、指導内容を各校がそれぞれ工夫しながら消費者教育を実践した。</p> <p>【課題と今後の対応等】 児童生徒の障害の状態や発達段階に応じて学習が展開できるように、教科書や教材の整理や系統性を重視した指導内容の検討。児童生徒の意識の変化や実践力についてのエビデンスの示し方。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止</p>
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																	
実施状況	○																																					
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																	
実施状況	○																																					
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																	
実施状況	○																																					

施策	推進	取組	事業内容・実施状況	担当課等	自己評価等																											
2 自立した消費者の育成	(1) ライフステージ・場ごとの消費者教育	① 各学校段階に合った副教材の作成や授業支援等	<p>○公民科や家庭科を中心に消費者教育を促進する。</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※出前講座の周知。消費者教育について教員研修を実施(仙南地区)</p> <p>○宮城県金融広報委員会との連携による指定校の実践事例等の普及・広報に努める。</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>解体木造建築物の構造材再利用促進の基礎的研究事業(古川工業, 白石工業) 東南アジアの廃棄物・水問題解決のための取り組み(仙台二華)</p>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					高校教育課	<p>【自己評価】 (消費者教育) 成年年齢引き下げに対応した授業実戦に向けて、先生方に適切な情報提供を行うことができた。また、教員の指導力向上に向けた取り組みを実践することができ非常に良かった。 (環境学習活動) 産業廃棄物の再利用・有効利用を含めた、循環型社会に貢献できる人材の育成につながっている。</p> <p>【課題と今後の対応等】 (消費者教育) 出前講座等の周知を続け、生徒たちが消費者トラブルに対する知識と技術を身に付けるための支援を行う。また、教員の指導力向上のための研修会についてもこれまでどおり推進していく。 (環境学習活動) 持続可能な社会の構築を目指すため、現在の取り組みを行なっている学校の活動を充実させるだけでなく、他校へも環境教育の拡充を図りたい。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>			
			対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																								
			実施状況	○																												
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																											
実施状況	○																															
<p>○学校と連携し生徒がインターネットに起因する犯罪被害に遭わないための講話を行う。</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>講話実施</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(小学校)</td> <td>142校</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(中学校)</td> <td>155校</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(高等学校)</td> <td>65校</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	講話実施	○					(小学校)	142校					(中学校)	155校					(高等学校)	65校					県警少年課	<p>【自己評価】 県内の小学校、中学校、高等学校において、生徒、保護者、教員を対象に、警察で取り扱うインターネット利用犯罪の現状、被害防止対策、フィルタリングの設定、安全利用のルールなど、情報モラル向上に向けた活動を実施した。 非行防止教室における児童生徒への呼び掛けのほか、保護者に対しても注意喚起を行うことで、家族ぐるみによる意識の向上が図られている。また、通信事業者との協働によるインターネット安全利用教室の開催により、効果的な広報啓発を行っている。</p> <p>【課題と今後の対応等】 学校との連携による各種施策を継続して実施し、児童生徒の安全確保を図る。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																											
講話実施	○																															
(小学校)	142校																															
(中学校)	155校																															
(高等学校)	65校																															
<p>○幼稚園、小学校、中学校、高等学校から金融教育研究校を委嘱し、公開授業や教員による研究発表の取り組みを通じ、金融教育の普及促進を図</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>栗原市立金成幼稚園、石巻市立河北幼稚園 南三陸町立伊里前小学校、蔵王町立永野小学校</p> <p>○社会科や家庭科等の授業を通じて、児童生徒の実態や発達段階に応じた適切な消費者教育を推進する。</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					消費生活・文化課 (金融広報委員会) (義務教育課)	<p>【自己評価】 (金融教育) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一部オンラインとなったものの、公開研究会等を通じて、金銭教育に関する取組等を発表し、県内への普及に努めた。 金融広報委員会と情報共有するなど、連携を図りながら研究校への支援に努めた。</p>						
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																											
実施状況	○																															
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																											
実施状況	○																															

施策	推進	取組	事業内容・実施状況	担当課等	自己評価等																																																																																																
2 自立した消費者の育成	(1) ライフステージ・場ごとの消費者教育	① 各学校段階に合った副教材の作成や授業支援等	<p>○関係機関と連携しながら、将来の社会を担う主権者として必要な知識・技能を段階的・系統的に身に付けられるようにする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(内容)</td> <td>租税教室</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(開催校数)</td> <td>299校</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(参加人数)</td> <td>17,047人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○消費生活関連のパンフレットやDVDの配布・貸出、動画の配信など、理解しやすい教材や啓発ツールで理解促進を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パンフレット作成部数</td> <td>59,000部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>パンフレット作成種類</td> <td>3種類</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○県ホームページ、ラジオ、情報誌等で消費者トラブルや特殊詐欺等に関する注意喚起や消費者市民社会の意義について啓発を行うとともに若者がアクセスしやすい啓発ツールの活用に取組み、注意喚起や情報提供を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホームページでの情報発信</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラジオ広報</td> <td>51件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>情報誌(オーレ)</td> <td>4回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Facebookでの情報発信</td> <td>10回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>YouTubeでの情報発信</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○幼児事故の未然防止に関する啓発や消費者教育を取り入れた消費生活講座(出前講座等)を行うほか、乳幼児の事故に関する注意喚起情報等をホームページや情報誌で発信する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※ホームページで注意喚起</p>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					(内容)	租税教室					(開催校数)	299校					(参加人数)	17,047人					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	パンフレット作成部数	59,000部					パンフレット作成種類	3種類					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	ホームページでの情報発信	○					ラジオ広報	51件					情報誌(オーレ)	4回					Facebookでの情報発信	10回					YouTubeでの情報発信	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					<p>消費生活・文化課 (金融広報委員会) (義務教育課)</p>	<p>(消費者教育) ・学習指導要領では、教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成が求められており、消費者教育を社会科・家庭科等を中心に教育課程に位置付けて指導が進められている。 ・指導主事学校訪問等の機会に、児童生徒の実態や発達段階に応じた適切な消費者教育が実施されるように、働き掛けている。また、具体的な指導の場面で指導助言の充実に努めている。 ・宮城県教育委員会が県内全ての幼稚園・小中学校・高等学校に配布している「学校教育の方針と重点」に、主権者教育等(主権者教育、租税教育、消費者教育)として指導の重点を示している。</p> <p>(租税教育) ・宮城県教育委員会が県内全ての幼稚園・小中学校・高等学校に配布している「学校教育の方針と重点」に、主権者教育等(主権者教育、租税教育、消費者教育)として指導の重点を示している。 ・宮城県租税教育推進協議会と連携し、より効果的な租税教育を推進し、主権者意識を育てるために、小学校6年生・中学校3年生に協議会が作成した「税に関する学習資料」を配布したり、租税教室を実施したりした。</p> <p>【課題と今後の対応等】 ・主権者教育等(主権者教育、租税教育、消費者教育)の充実のために、優れた教材の開発や、外部人材の活用、関係機関との連携強化を図るとともに、指導の効果をあげるための研修の充実に努める。 ・成年年齢が18歳に引き下げられることを踏まえた指導の充実に努める。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止</p>
			対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																													
実施状況	○																																																																																																				
(内容)	租税教室																																																																																																				
(開催校数)	299校																																																																																																				
(参加人数)	17,047人																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
パンフレット作成部数	59,000部																																																																																																				
パンフレット作成種類	3種類																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
ホームページでの情報発信	○																																																																																																				
ラジオ広報	51件																																																																																																				
情報誌(オーレ)	4回																																																																																																				
Facebookでの情報発信	10回																																																																																																				
YouTubeでの情報発信	○																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
実施状況	○																																																																																																				
			<p>○「学生サポーター」の認定を行い、啓発活動を通じて自立した消費者としての地域を身につけられるよう支援する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生サポーター認定状況</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○入学時等におけるガイダンスの場を利用した消費者教育に加え、学生自身が消費者問題を主体的に学習できるよう配慮し、カリキュラムへの導入を</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施状況</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	学生サポーター認定状況	—					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	—					<p>消費生活・文化課</p>	<p>【自己評価】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大学訪問などによる学生サポーターの周知活動や入学時ガイダンスでの消費者教育を行うことが出来なかった。</p> <p>【課題と今後の対応】 学生サポーターの認定のための準備を行うほか、入学時ガイダンスでのパンフレット配布など、若年層への啓発に努める。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止</p>																																																																								
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
学生サポーター認定状況	—																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
実施状況	—																																																																																																				

施策	推進	取組	事業内容・実施状況	担当課等	自己評価等																																																																					
2 自立した消費者の育成	(1) ライフステージ・場ごとの消費者教育	② 地域の見守り体制の構築と関係機関連携による啓発等	<p>○地域における消費者教育を推進する。</p> <p>・地域安全教室講師派遣事業の実施(特殊詐欺被害防止)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教室実施回数</td> <td>1回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>教室参加人数</td> <td>26人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	教室実施回数	1回					教室参加人数	26人					共同参画社会推進課	<p>【自己評価】 地域で行われる高齢者が多く集まる会合の機会をとらえて講師派遣を行い、特殊詐欺被害防止について注意喚起することができた。</p> <p>【課題と今後の対応】 より多くの方に講話を聞いていただけるよう、講師派遣事業の周知を図っていく。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>																																																			
			対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																		
			教室実施回数	1回																																																																						
教室参加人数	26人																																																																									
<p>○地域における消費者教育を推進する。</p> <p>・高齢者虐待に関する資料の作成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施状況</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・高齢者虐待対策機能強化業務(相談窓口の設置)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>49件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・高齢者権利擁護推進研修会の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修会実施回数</td> <td>4回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>研修会参加人数</td> <td>377人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・消費生活講座(出前講座)の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修会実施回数</td> <td>37回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>研修会参加人数</td> <td>717人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・消費者安全確保地域協議会の設置を促進</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施状況</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	—					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	相談件数	49件					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	研修会実施回数	4回					研修会参加人数	377人					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	研修会実施回数	37回					研修会参加人数	717人					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	—					長寿社会政策課(消費生活文化課)	<p>【自己評価】 高齢者虐待防止等をテーマとする研修会等の開催を通して、高齢者の権利擁護に関する普及啓発を行った。また、高齢者権利擁護をテーマとする研修会(委託)の開催により、施設従事者等に対して権利擁護の重要性を周知したほか、相談窓口(委託)を設置し高齢者虐待対応等の相談に応じることで、市町村等の高齢者権利擁護の取組を推進した。</p> <p>【課題と今後の対応】 虐待は、高齢者の権利が脅かされる状況であることから、迅速な対応が求められる。早期発見・早期対応のために、関係機関とのネットワーク構築及び連携体制の強化、市町村職員等に対する支援といった取組が必要である。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																					
実施状況	—																																																																									
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																					
相談件数	49件																																																																									
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																					
研修会実施回数	4回																																																																									
研修会参加人数	377人																																																																									
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																					
研修会実施回数	37回																																																																									
研修会参加人数	717人																																																																									
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																					
実施状況	—																																																																									
<p>○高齢者や障がい者の権利擁護を行う団体と連携し、権利擁護に関する相談対応、普及活動を展開する。</p> <p>・障がい者でんわ相談室の開設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>1,111件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○市町村の行う障がい者相談支援事業における消費者教育を支援する。</p> <p>・障がい者相談支援従事者研修の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修会開催回数</td> <td>4回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(初任者研修)</td> <td>84人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(現任研修)</td> <td>64人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(主任研修)</td> <td>13人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(専門コース研修)</td> <td>14人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	相談件数	1,111件					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	研修会開催回数	4回					(初任者研修)	84人					(現任研修)	64人					(主任研修)	13人					(専門コース研修)	14人					障害福祉課	<p>【自己評価】 (電話相談室) 電話相談を実施し、消費者問題を含む障害者からの様々な相談等に対応する体制の構築を図った。</p> <p>(研修) 障害者相談支援事業に従事する専門職の資格取得及び資質向上に関する研修を実施し、障害者とその家族が安心して地域社会で生活するための相談支援体制の強化に寄与した。</p> <p>【課題と今後の対応等】 専門機関との連携を図りながら様々な障害への理解や福祉制度についての研修を行い、相談員の資質向上に努め、相談体制を一層強化していく。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>																								
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																					
相談件数	1,111件																																																																									
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																					
研修会開催回数	4回																																																																									
(初任者研修)	84人																																																																									
(現任研修)	64人																																																																									
(主任研修)	13人																																																																									
(専門コース研修)	14人																																																																									

施策	推進	取組	事業内容・実施状況	担当課等	自己評価等																																																																																																
2	自立した消費者の育成	(1) ライフステージ・場ごとの消費者教育 ② 地域の見守り体制の構築と関係機関連携による啓発等	<p>○地域における消費者教育を推進する。</p> <p>・高齢者が被害に遭いやすい特殊詐欺の手口周知と被害防止対策について、テレビコマーシャルを製作・放送し注意喚起する。</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・特殊詐欺犯人グループから押収した名簿登載者に対し広報啓発用はがきを郵送し注意喚起する。</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・特殊詐欺電話撃退装置整備費用の1/2を補助する事業の実施</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>補助件数</td><td>241件</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・防犯ボランティアや高齢者関係団体等と連携し特殊詐欺被害防止の広報啓発活動を実施</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・新聞紙面広報や、テレビ・ラジオ等を活用した特殊詐欺被害防止の広報啓発活動を実施</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>新聞広告</td><td>151回</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>テレビCM</td><td>67回</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ラジオ広報</td><td>2回</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・特殊詐欺被害防止の広報啓発用チラシを作成し、広報啓発活動を実施</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">※チラシ13万枚作成</p> <p>・各警察署で高齢者を対象とした広報啓発活動を実施</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>出前講座実施回数</td><td>66回</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	補助件数	241件					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	新聞広告	151回					テレビCM	67回					ラジオ広報	2回					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	出前講座実施回数	66回					県警生活安全企画課	<p>【自己評価】 防犯団体、金融機関等の関係機関と連携して特殊詐欺被害防止広報を行い、高齢者を中心に防犯広報を展開した。特殊詐欺被害の多くが、犯人から自宅の固定電話機への架電がきっかけとなっていることから、県内各警察署で貸出用特殊詐欺電話撃退装置を運用した。また、全国警察初の取組として、特殊詐欺電話撃退装置を購入した県民に対する購入費補助金事業を行い、県民の固定電話対策の推進を図った。</p> <p>【課題と今後の対応等】 令和3年中の特殊詐欺認知件数は280件(前年比100件増)、被害金額約4億4,000万円(前年比約1億6,000万円増)となり、令和2年と比較して大幅に被害が増加した。警察広報の行き届かない高齢者もいることから、高齢者と接する機会の多い関係機関と連携するほか、引き続き関係機関と連携の上、特殊詐欺被害防止広報を展開する。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>
			対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																													
実施状況	○																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
実施状況	○																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
補助件数	241件																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
実施状況	○																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
新聞広告	151回																																																																																																				
テレビCM	67回																																																																																																				
ラジオ広報	2回																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
実施状況	○																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
出前講座実施回数	66回																																																																																																				
			<p>○消費者月間に合わせラジオ放送により悪質商法、消費者トラブル等に関する注意喚起、啓発を行う。</p> <p>・ラジオ広報</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>3回</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	3回					県警生活環境課	<p>【自己評価】 ラジオ放送では、「悪質商法の被害に遭わないために」をテーマに、特定商取引法で規制される「訪問販売」に関して広報を行い、被害者の約4割が65歳以上の高齢者であること、最近では「押し買い商法」、「点検商法」の手口が発生しているため、注意が必要であることなどを注意喚起した。</p> <p>【課題と今後の対応】 悪質商法の被害は、新型コロナウイルスの流行など社会情勢の変化に応じて、その手口を多種多様に変化させながら発生することから、引き続きラジオ広報などを通じて広報啓発活動を推進する必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
実施状況	3回																																																																																																				

施策	推進	取組	事業内容・実施状況	担当課等	自己評価等																																																																		
2 自立した消費者の育成	(1) ライフステージ・場ごとの消費者教育	② 地域の見守り体制の構築と関係機関連携による啓発等	<p>○消費者教育を継続的に受けられるよう、「消費生活展」などのイベントや町内会等の求めに応じて、出前講座等を実施する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出前講座実施回数</td> <td>64回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>消費生活展</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○警察等と連携した街頭啓発や報道機関と連携した広報、消費生活サポーター等を活用して、特殊詐欺被害の抑止を図る。</p> <p>・「みやぎ消費者被害ゼロキャンペーン」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施状況</td> <td>4回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○県ホームページ、ラジオ、情報誌等で消費者トラブルや特殊詐欺等に関する注意喚起や消費者市民社会の意義について啓発を行うとともに、SNSなどを活用し、注意喚起や情報提供を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホームページでの情報発信</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラジオ広報</td> <td>51件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>情報誌(オーレ)</td> <td>4回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Facebookでの情報発信</td> <td>10回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>YouTubeでの情報発信</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	出前講座実施回数	64回					消費生活展	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	4回					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	ホームページでの情報発信	○					ラジオ広報	51件					情報誌(オーレ)	4回					Facebookでの情報発信	10回					YouTubeでの情報発信	○					消費生活・文化課	<p>【自己評価】 様々な媒体をととして積極的な情報提供を行い啓発活動を行った。また、「消費生活展」を12月14日から17日まで開催し、消費者教育の推進を図った。</p> <p>【課題と今後の対応】 消費生活展などのイベントについては、より効果的な開催方法を検討したい。広報活動については、関係機関と連携して今後も継続して実施し、普及啓発を図っていく。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止</p>
		対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																
		出前講座実施回数	64回																																																																				
消費生活展	○																																																																						
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																		
実施状況	4回																																																																						
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																		
ホームページでの情報発信	○																																																																						
ラジオ広報	51件																																																																						
情報誌(オーレ)	4回																																																																						
Facebookでの情報発信	10回																																																																						
YouTubeでの情報発信	○																																																																						
③ PTA活動や学校行事等との連携等	<p>○県ホームページ、ラジオ、情報誌等で消費者トラブルや特殊詐欺等に関する注意喚起や消費者市民社会の意義について啓発を行うとともに、SNSなどを活用し、注意喚起や情報提供を行う。【再掲】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホームページでの情報発信</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラジオ広報</td> <td>51件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>情報誌(オーレ)</td> <td>4回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Facebookでの情報発信</td> <td>10回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>YouTubeでの情報発信</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○学校等の行事に講師を派遣し(出前講座)、保護者向けに様々な消費トラブルに関する情報提供を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出前講座実施回数</td> <td>6回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出前講座参加人数</td> <td>441人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○金融広報委員会や関係団体と連携し、金融経済等に関する知識の普及を図るため、一般県民等を対象とした講演会を開催する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	ホームページでの情報発信	○					ラジオ広報	51件					情報誌(オーレ)	4回					Facebookでの情報発信	10回					YouTubeでの情報発信	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	出前講座実施回数	6回					出前講座参加人数	441人					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					消費生活・文化課 (金融広報委員会)	<p>【自己評価】 広報活動については、様々な媒体を通して積極的な情報提供等による啓発活動を行った。学校やPTAからの要請による学年行事や保護者と連携した講演会事業に対しては積極的に対応している。</p> <p>【課題と今後の対応】 対象によってより効果的な周知方法を検討し、さらなる普及啓発を図っていく。 成年年齢の引き下げに伴う消費者教育は、学校を核とした事業は効果が大きく、今後も講師の充実や外部講師の活用を図りながら、積極的に対応していく。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止</p>		
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																		
ホームページでの情報発信	○																																																																						
ラジオ広報	51件																																																																						
情報誌(オーレ)	4回																																																																						
Facebookでの情報発信	10回																																																																						
YouTubeでの情報発信	○																																																																						
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																		
出前講座実施回数	6回																																																																						
出前講座参加人数	441人																																																																						
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																		
実施状況	○																																																																						
④ 企業の従業員に対する消費者教育への支援等	<p>○サイバー犯罪被害防止のため、企業や関係機関、団体等を対象としたサイバーセキュリティ講演を開催する。</p> <p>・サイバーセキュリティ講演の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講演実施回数</td> <td>23回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>講演参加人数</td> <td>756人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	講演実施回数	23回					講演参加人数	756人					県警サイバー犯罪対策課	<p>【自己評価】 宮城県サイバーセキュリティ協議会を活用した情報発信・共有、ラジオ広報、サイバーセキュリティ講演の業務委託の実施及び警察署との連携による講演等を実施し、コロナ禍においても効果的にサイバーセキュリティ意識の向上を図ることができた。</p>																																																		
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																		
講演実施回数	23回																																																																						
講演参加人数	756人																																																																						

施策	推進	取組	事業内容・実施状況	担当課等	自己評価等																		
2	自立した消費者の育成	④ 企業の従業員に対する消費者教育への支援等	<p>○サイバー空間における脅威等について理解を促すため、サイバー犯罪被害防止をテーマとした講話を行う。</p> <p>・サイバー犯罪防止に関する講和</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講演実施回数</td> <td>263回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>講演参加人数</td> <td>556,996人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	講演実施回数	263回					講演参加人数	556,996人					<p>県警サイバー犯罪対策課</p>	<p>【課題と今後の対応】 新たな手口のサイバー犯罪被害や相談件数が増加していることから、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮したオンラインによる被害防止講話、宮城県サイバーセキュリティ協議会における情報発信・共有の実施のほか、各種広報媒体を活用し、消費者のサイバーセキュリティ意識の向上を図る。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止</p>
			対象年度	R3	R4	R5	R6	R7															
講演実施回数	263回																						
講演参加人数	556,996人																						
<p>○事業者主催の会合等を活用して出前講座を行い、消費者トラブルに関する情報提供を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施状況</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	—					<p>消費生活・文化課</p>	<p>【自己評価】 出前講座について企業へのPRがなかなか浸透していない。</p> <p>【課題と今後の対応】 職域への消費者教育を浸透させる工夫が必要と考えられる。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止</p>									
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																		
実施状況	—																						

2 消費者教育推進に係る人材等の育成

施策	推進	取組	事業内容・実施状況	担当課等	自己評価等																																																			
2 自立した消費者の育成	(2) 消費者教育推進に係る人材等の育成	① 消費生活相談員や学校教職員に対する研修の充実等	<p>○多くの教職員が消費者教育に関わることができるようオンライン形式も含めた研修体制や環境整備を行い、教育の機会を確保する。</p> <p>・県立学校へのICT支援員の派遣</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>短期支援(2日間)</td> <td>全校</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>長期支援(1月または2月)</td> <td>6校</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オンライン研修会実施回数</td> <td>4回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	短期支援(2日間)	全校					長期支援(1月または2月)	6校					オンライン研修会実施回数	4回					教育企画室	<p>【自己評価】 担当教員だけでは対応が難しい、きめ細やかな支援をすることで教員との信頼関係が構築され、円滑な支援ができたと考える。また、こうした事業成果を研修会の場や授業の様子の動画配信で市町村教員等とも共有することができ、市町村への横展開を図ることができた。</p> <p>【課題と今後の対応】 ICTの利活用には、教員のICT活用指導力が不可欠だが、文部科学省が毎年実施する実態調査において本県は、改善傾向ではあるものの全国平均を下回っている。国の「GIIGAスクール構想」や新型コロナ拡大も踏まえたオンライン教育等ICT活用の重要性が一層高まる等、教育現場の情報化が加速している状況を踏まえ、その対応に必要な主要事務事業として実施していく。</p> <p>【今後の方向性】 ■拡充 □維持 □縮小 □廃止</p>																											
			対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																
			短期支援(2日間)	全校																																																				
長期支援(1月または2月)	6校																																																							
オンライン研修会実施回数	4回																																																							
<p>○学校教職員に対する研修の充実及びセミナー等の開催により人材の育成を推進する。</p> <p>・教員向け研修に消費生活に関する講座の開設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座実施</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(小学校)</td> <td>193人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(中学校)</td> <td>127人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(特別支援学校 小・中)</td> <td>25人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・総合教育研修センターで実施する研修会に消費者教育に関する分野の講師を派遣</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座実施</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(高等学校)</td> <td>76人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(特別支援学校 高)</td> <td>14人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	講座実施	○					(小学校)	193人					(中学校)	127人					(特別支援学校 小・中)	25人					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	講座実施	○					(高等学校)	76人					(特別支援学校 高)	14人					教職員課	<p>【自己評価】 教員自身が成年年齢の引き下げによる影響について理解することで、児童生徒に対して、何を伝えなければならぬかを考える研修内容となった。特に高等学校の場合、在学中に成年年齢を迎える生徒もおり、社会経験や判断が乏しい子どもたちであっても、法律上は大人として見られるようになるため、今以上に大人たちの日頃からの声かけや教育が大切になることを学ぶことができた。</p> <p>【課題と今後の対応等】 教科指導だけではなく、さまざまな指導場面において、消費者教育が関わってくることをさらに浸透していく必要があるため、研修を通しての、より一層の啓発が求められる。</p> <p>【今後の方向性】 消費者教育の推進を図るために、初任者研修(2年目)ではなく、初任者研修(3年目)の研修の中で、研修を継続していく。 □拡充 ■維持 □縮小 □廃止</p>
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																			
講座実施	○																																																							
(小学校)	193人																																																							
(中学校)	127人																																																							
(特別支援学校 小・中)	25人																																																							
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																			
講座実施	○																																																							
(高等学校)	76人																																																							
(特別支援学校 高)	14人																																																							
<p>○各地区における教育課程協議会において、幼稚園・小・中学校の教職員に対する主権者教育等(主権者教育, 租税教育, 主権者教育)について協議し、指導の充実を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協議会開催</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(教育課程協議会)</td> <td>小社88人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小家57人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中社74人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中家28人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(幼稚園教育課程協議会)</td> <td>159人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	協議会開催	○					(教育課程協議会)	小社88人					小家57人					中社74人					中家28人					(幼稚園教育課程協議会)	159人					義務教育課(消費生活・文化課)	<p>【自己評価】 ・各地区ごとに教育課程協議会を実施し、社会科・家庭科等の教科を中心に、消費者教育の充実について触れ、指導の充実を図った。 ・幼稚園教育課程協議会では、ごっこ遊びによる金銭教育の事例について情報共有をした。</p> <p>【課題と今後の対応等】 成年年齢が18歳に引き下げられることを踏まえ、幼・小・中・高の発達段階に応じた適切な指導の充実を図る。</p> <p>【今後の方向性】 □拡充 ■維持 □縮小 □廃止</p>															
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																			
協議会開催	○																																																							
(教育課程協議会)	小社88人																																																							
	小家57人																																																							
	中社74人																																																							
	中家28人																																																							
(幼稚園教育課程協議会)	159人																																																							

施策	推進	取組	事業内容・実施状況	担当課等	自己評価等																																							
2	自立した消費者の育成	(2) 消費者教育推進に係る人材等の育成	<p>○消費生活講座の実施や消費者教育の情報提供により保護者への啓発を</p> <p>・消費者教育に関する職員研修</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・消費生活講座</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	—					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					特別支援教育課	<p>【自己評価】 消費者教育の指導の様子については、ウェブページや学校だより等を通して保護者への発信を行い啓発を図った。</p> <p>【課題と今後の対応等】 職員を対象とした研修の単独実施ではなく、児童生徒対象の講座に教職員も参加し、事後に授業内容への展開等を教職員間で話し合っている。教職員対象の研修の企画・実施の在り方を検討。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>															
			対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																				
			実施状況	—																																								
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																							
実施状況	○																																											
<p>○成年年齢引き下げに伴う消費者教育推進の留意事項について各校に周知教育課程の適切な実施を図る。</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※出前講座の周知。消費者教育について教員研修を実施(仙南地区)</p> <p>○宮城県金融広報委員会との連携による指定校の実践事例等の普及・広報に努める。</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					高校教育課(消費生活・文化課)	<p>【自己評価】 (消費者教育) 成年年齢引き下げに対応した授業実践に向けて、先生方に適切な情報提供を行うことができた。また、教員の指導力向上に向けた取り組みを実践することができ非常に良かった。</p> <p>【課題と今後の対応等】 ・出前講座等の周知を続け、生徒たちが消費者トラブルに対する知識と技術を身に付けるための支援を行う。また、教員の指導力向上のための研修会についてもこれまでどおり</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>																		
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																							
実施状況	○																																											
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																							
実施状況	○																																											
<p>○消費生活相談員の資質向上を図るため、研修の機会確保に努める。</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>研修受講状況</td><td>41人</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>○行政機関、言語司会、司法書士会と連携した研修会を実施する。</p> <p>・アドバイザー弁護士事例検討会</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>4回</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>○教育庁や関係団体と連携しながら、指導力向上のための実践的なセミナー等を開催します。</p> <p>・教員対象消費者講座</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>講座受講状況</td><td>11人</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	研修受講状況	41人					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	4回					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					講座受講状況	11人					消費生活・文化課(高校教育課)	<p>【自己評価】 多岐にわたるテーマの研修会へ派遣することができた。</p> <p>【課題と今後の対応】 日々変化する消費者トラブルに対応するため、継続して研修の機会を確保するほか、関係機関と連携した研修会開催についても開催する。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																							
研修受講状況	41人																																											
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																							
実施状況	4回																																											
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																							
実施状況	○																																											
講座受講状況	11人																																											

施策	推進	取組	事業内容・実施状況	担当課等	自己評価等																																																																		
2 自立した消費者の育成	(2) 消費者教育推進に係る人材等の育成	② 教職員や保護者等の求めに応じた研修会等への講師派遣の支援	<p>○特定の教科に限定せず、多くの教職員が消費者教育に関わることができるよう、オンライン形式を含め、教員研修体制や環境整備に努め、教育の機会を確保する。</p> <p>・教員を対象とした消費者講座の開催</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>11人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・教員向け研修に消費生活に関する講座の開設(再掲)</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>講座実施(小学校)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(中学校)</td> <td>193人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(特別支援学校 小・中)</td> <td>127人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(特別支援学校 小・中)</td> <td>25人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・総合教育研修センターで実施する研修会に消費者教育に関する分野の講師を派遣(再掲)</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>講座実施(高等学校)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(高等学校)</td> <td>76人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(特別支援学校 高)</td> <td>14人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	参加人数	11人					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	講座実施(小学校)	○					(中学校)	193人					(特別支援学校 小・中)	127人					(特別支援学校 小・中)	25人					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	講座実施(高等学校)	○					(高等学校)	76人					(特別支援学校 高)	14人					消費生活・文化課 教職員課 義務教育課 高校教育課	<p>【自己評価】 内容については満足度の高い研修となったが、研修の参加者数の増に向けて工夫が必要と思われた。</p> <p>【課題と今後の対応等】 教育庁主催会議とのタイアップなどで参加人数の増に向けた取り組みが必要。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>
		対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																
		参加人数	11人																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																		
講座実施(小学校)	○																																																																						
(中学校)	193人																																																																						
(特別支援学校 小・中)	127人																																																																						
(特別支援学校 小・中)	25人																																																																						
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																		
講座実施(高等学校)	○																																																																						
(高等学校)	76人																																																																						
(特別支援学校 高)	14人																																																																						
③ 学生サポーターの認定・活用	<p>○消費者問題に高い関心を持つ学生を「学生サポーター」に認定し、身近な人への啓発活動を通じて自立した消費者としての知識や意識を身につける。</p> <p>・学生サポーター認定状況</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>認定状況</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○SNSなど若者がアクセスしやすい啓発ツールを活用し、注意喚起や情報提供を行う。</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>ホームページでの情報発信</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Facebookでの情報発信</td> <td>10回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>YouTubeでの情報発信</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○入学オリエンテーションにおける出前講座・リーフレット配布等により、学生に消費トラブル等についての啓発を行うとともに、消費者教育や学生サポーターの役割等について情報提供を行う。</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	認定状況	—					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	ホームページでの情報発信	○					Facebookでの情報発信	10回					YouTubeでの情報発信	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	—					消費生活・文化課	<p>【自己評価】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、大学訪問等の周知活動等を行わず、学生サポーターの認定や入学オリエンテーション時の消費者教育が出来なかった。</p> <p>【課題と今後の対応等】 学生サポーターの認定のための準備を行うほか、入学時ガイダンスでのパンフレット配布など、若年層への啓発に努める。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																		
認定状況	—																																																																						
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																		
ホームページでの情報発信	○																																																																						
Facebookでの情報発信	10回																																																																						
YouTubeでの情報発信	○																																																																						
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																		
実施状況	—																																																																						
④ 地域における消費生活サポーター制度の活用等	<p>○サポーター養成講座の見直しを行い、サポーター就任の機会を拡充し活用</p> <p>・サポーター養成講座</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>講座実施状況</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○消費生活サポーター制度等を通じて、消費者教育に取り組む地域人材を育成・支援する。</p> <p>・消費生活サポーター認定状況</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>認定状況</td> <td>117人 21団体</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	講座実施状況	—					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	認定状況	117人 21団体					消費生活・文化課	<p>【自己評価】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、サポーター養成講座の開催を中止したが、引き続き117人の個人及び21の団体にサポーターへ登録いただいた。</p> <p>【課題と今後の対応】 サポーターの新規認定者が頭打ちになっていることから、募集方法などの見直しについて検討することも必要と思われる。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>																																												
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																		
講座実施状況	—																																																																						
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																		
認定状況	117人 21団体																																																																						

施策	推進	取組	事業内容・実施状況	担当課等	自己評価等																																				
2	(2) 消費者教育推進に係る人材等の育成	⑤ 事業者に対する教育等	<p>○企業に対し消費者志向経営等に関するセミナー等の開催や情報提供を行い、理解促進を図る。</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※事業者への情報提供</p> <p>○環境や人に配慮した消費行動を進めるため、セミナー等を開催し、理解を深める支援を行う。</p> <p>・環境に配慮したセミナーの開催</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○事業者訪問等を通じ、事業者及び事業者団体が自らの事業活動に関し、遵守すべき基準の作成を支援するとともに、消費者の信頼を確保するための自主的な取り組みを支援する。</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※事業者訪問対応</p>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	—					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					消費生活・文化課	<p>【自己評価】 エシカル消費や消費者志向経営に関する情報提供は行ったが、セミナー開催等のフォローは出来なかった。</p> <p>【課題と今後の対応】 引き続きエシカル消費や消費者志向経営に関する情報提供を行って理解を深められるよう支援する。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																				
実施状況	○																																								
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																				
実施状況	—																																								
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																				
実施状況	○																																								

3 関係団体への支援・連携・協働

施策	推進	取組	事業内容・実施状況	担当課等	自己評価等																																													
2 自立した消費者の育成	(3) 関係団体への支援・連携・協働	① 関係団体への支援・連携・協働	<p>○ 消費者教育を実効性のあるものとして推進する。</p> <p>・SDGs普及啓発研修会の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施状況</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	—					総合政策課	<p>【自己評価】 自治体職員を対象とした研修会の実施に向け、関係者と調整していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、中止した。</p> <p>【課題と今後の対応等】 昨今、SDGs推進に向けた機運が高まっていることから、庁内職員のSDGsに関する認知度は、一定程度に達している。 今後も引き続き、研修会を開催し、SDGsの効果的な普及啓発を図っていくとともに、SDGsと所管業務の関連づけなど、SDGsを取り入れた具体的な取組につながるよう研修内容等の検討・見直しを行う。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>																																	
			対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																										
			実施状況	—																																														
<p>○ 地域での見守りを担う関係機関への情報提供等により、消費者被害の未然防止、早期発見に努める。</p> <p>・高齢者地域見守り連携協定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協定締結状況</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	協定締結状況	—					長寿社会政策課	<p>【自己評価】 令和3年度は高齢者地域見守りに関する協定を締結した法人はなかった。</p> <p>【課題と今後の対応】 今後も全県的に高齢者を見守ることが可能な法人があれば協定を結んでいく。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																													
協定締結状況	—																																																	
<p>○各団体との定期的な情報交換等を行い、様々な場において実効性のある消費者教育を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報交換等実施状況</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○企業に対し消費者志向経営等についてセミナー等の開催や情報提供を行い、理解促進を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業者への情報提供</p> <p>○消費者志向経営やエシカル消費等の取組への関心が高い企業を「サポーター企業」に認定し、県内企業への消費者志向やエシカル消費の普及を促進する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報交換等実施状況</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○「みやぎ消費者被害ゼロキャンペーン」の協賛企業等と連携し、消費者に対する啓発に取り組む。</p> <p>・「みやぎ消費者被害ゼロキャンペーン」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施状況</td> <td>4回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	情報交換等実施状況	—					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	情報交換等実施状況	—					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	4回					消費生活・文化課	<p>【自己評価】 各種団体に対して情報交換等は行ったものの、対応する人員や新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、意見交換会等を行うことが出来なかった。</p> <p>【課題と今後の対応】 今後も多くの関係団体への支援、連携を進めたい。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																													
情報交換等実施状況	—																																																	
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																													
実施状況	○																																																	
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																													
情報交換等実施状況	—																																																	
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																													
実施状況	4回																																																	

施策	推進	取組	事業内容・実施状況	担当課等	自己評価等																																																																																																
2 自立した消費者の育成	(4) 関係施策等との連携	① 環境教育との連携	<p>○「持続可能な社会づくり」の実現を目指して行われる環境教育と連携を図ることで消費者教育の効果を高める。</p> <p>・グリーン購入セミナーの開催</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>セミナー開催状況</td><td>1回</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加人数</td><td>50人</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・宮城県グリーン製品認定</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>認定件数</td><td>36件</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>認定製品数</td><td>105製品</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・行政庁舎内でのパネル展示</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・産業技術総合センター一般公開への出展</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・各種イベントでの製品展示</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">※みやぎ環境フェスタ</p> <p>・わたしのe行動(eco do!)宣言の登録</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>登録者数</td><td>657人</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・環境教育リーダー等による出前講座を実施</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>出前講座実施回数</td><td>58回</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	セミナー開催状況	1回					参加人数	50人					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	認定件数	36件					認定製品数	105製品					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	—					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	登録者数	657人					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	出前講座実施回数	58回					環境政策課	<p>【自己評価】 みやぎグリーン購入ネットワークと連携し、グリーン購入の普及促進のためのセミナーを開催した。また、グリーン製品の認定を適正に行うとともに、イベントでの展示など、制度や認定製品の普及啓発に努めた。県民が、自ら環境配慮行動の実行を宣言し、それを県が登録・認定するe行動宣言登録事業により、環境配慮の動機付けを図った。小学校等で行う出前講座に環境教育リーダー等の講師を派遣し、環境教育の機会を提供した。</p> <p>【課題と今後の対応等】 宮城県グリーン製品認定制度や認定製品の一層の普及啓発に努めるとともに、グリーン製品の利活用を推進する。e行動宣言について、速やかな登録や認定証の交付に努め、県民の動機付けを支援する。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>
			対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																													
セミナー開催状況	1回																																																																																																				
参加人数	50人																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
認定件数	36件																																																																																																				
認定製品数	105製品																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
実施状況	○																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
実施状況	—																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
実施状況	○																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
登録者数	657人																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
出前講座実施回数	58回																																																																																																				
			<p>○「持続可能な社会づくり」の実現を目指して行われる環境教育と連携を図ることで消費者教育の効果を高める。</p> <p>・みやぎ食の安全安心消費者モニター研修会の開催</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>1回</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">※テーマ「食品ロス削減」</p> <p>・食品工場見学会・生産者との交流会の開催</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・食の安心安全セミナー、地方懇談会の開催</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>食の安心安全セミナー</td><td>2回</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>地方懇談会</td><td>8回</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・モニターだよりの発行</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>発行状況</td><td>3回</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・食品表示ウォッチャーによる食品表示モニタリングのための研修会の開催</p> <table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	1回					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	—					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	食の安心安全セミナー	2回					地方懇談会	8回					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	発行状況	3回					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	—					食と暮らしの安全推進課	<p>【自己評価】 みやぎ食の安全安心消費者モニター研修会やモニターだよりの安全安心セミナー、地方懇談会等により、食の安全安心に関する県民の理解を進めることができた。また、出前講座等により、食品表示制度の普及啓発を図ることができた。</p> <p>【課題と今後の対応等】 食の安全安心と食品表示に関する理解を深めるため、継続的な施策の実施が必要である。なお中止となっていた食品表示ウォッチャー事業や見学会・交流会の再開に向けて、コロナ感染状況を踏まえ、実施方法の検討を進める。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>																														
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
実施状況	1回																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
実施状況	—																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
食の安心安全セミナー	2回																																																																																																				
地方懇談会	8回																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
発行状況	3回																																																																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																
実施状況	—																																																																																																				

施策	推進	取組	事業内容・実施状況	担当課等	自己評価等																																																																					
2 自立した消費者の育成	(4) 関係施策等との連携	① 環境教育との連携	<p>・食品表示ウォッチャーだよりの発行</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>発行状況</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	発行状況	—					食と暮らしの安全推進課																																																										
			対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																		
			発行状況	—																																																																						
			<p>○エンカルの消費の推進をはじめ「持続可能な社会づくり」の実現を目指して行われる環境教育と連携を図ることで消費者教育の効果を高める。</p> <p>・第4期食育推進プランの周知</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※みやぎ食育通信や県HPで周知</p>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					健康推進課	<p>【自己評価】 コロナ感染症拡大の影響で、方法は限定的なものであったが、可能な範囲で県民に周知を図った。</p> <p>【課題と今後の対応】 今後も継続し、広く県民に周知を図る。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止</p>																																																									
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																					
実施状況	○																																																																									
<p>○県立自然の家での自然体験プログラムをとおし環境教育を推進する。</p> <p>・県立自然の家での自然体験プログラムの実施</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>プログラム数</td> <td>12事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>267人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	プログラム数	12事業					参加人数	267人					生涯学習課	<p>【自己評価】 各自然の家の恵まれた自然環境を利用した自然体験プログラムを実施し、環境保全等に対する理解と意識の高揚を図ることができた。</p> <p>【課題と今後の対応】 3密を避けながら実施したが、宿泊という部分で苦勞した。また、青年層の参加数を増やすため、SNSを活用した呼びかけを実施したい。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止</p>																																																						
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																					
プログラム数	12事業																																																																									
参加人数	267人																																																																									
<p>○3R推進月間にあわせたラジオCMやイベントにより、廃プラスチック対策、食品ごみの削減。廃棄物対策などの3Rについて普及啓発を図る。</p> <p>・普及啓発イベントの実施</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ラジオスポットCMの放送</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>CM放送回数</td> <td>112回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・普及啓発パネルの掲示</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>2回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・小学生向け映像媒体の作成</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・食品ロス削減計画作成</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>作成状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・みやぎ3R推進会議開催</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>開催状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	—					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	CM放送回数	112回					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	2回					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	作成状況	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	開催状況	○					循環型社会推進課	<p>【自己評価】 新型コロナウイルスの影響でイベント等は実施できなかったが、ラジオCMの放送、小学生向け啓発DVD、教材リーフレットの配布により3Rの普及啓発を行い、家庭や職場での取組に対する理解を促進することができた。</p> <p>【課題と今後の対応等】 令和3年度策定した食品ロス削減推進計画や、今年度4月に施行されたプラスチック資源循環法を踏まえ、食品ロス削減、3Rに関する普及啓発活動をより進展させていく必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止</p>
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																					
実施状況	—																																																																									
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																					
CM放送回数	112回																																																																									
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																					
実施状況	2回																																																																									
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																					
実施状況	○																																																																									
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																					
作成状況	○																																																																									
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																					
開催状況	○																																																																									

施策	推進	取組	事業内容・実施状況	担当課等	自己評価等																																																
2 自立した消費者の育成	(4) 関係施策等との連携	② 食育との連携	<p>○情報誌や県のホームページ等により普及啓発を図る。</p> <p>・小学生向け普及啓発キャンペーンの実施</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ポスター・パンフレット作成</p> <p>・みやぎ食育通信の発行</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>発行状況</td> <td>4回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○みやぎ食育コーディネーター等の情報発信や講師派遣のマッチングを行う</p> <p>・食育コーディネーターのフォローアップ、講師派遣マッチングの実施</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>講師派遣マッチング件数</td> <td>13回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○望ましい食生活の普及や地産地消の推進、食品の安全性に関する知識や理解等の消費者教育の取組を推進する。</p> <p>・第4期食育推進プランの周知</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※みやぎ食育通信や県HPで周知</p>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	発行状況	4回					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	講師派遣マッチング件数	13回					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					健康推進課	<p>【自己評価】 第4期食育推進プラン(R3～R7)に基づいた食育活動を実施し、食育コーディネーターなどの人材や協力企業と連携し、イベントや広報等の方法で県民への普及啓発を行った。R3年度は、感染症拡大の影響で活動が制限されたが、メディアを活用した情報発信等により、県民に対し訴求することができた。</p> <p>【課題と今後の対応】 第4期食育推進プランに基づき、市町村、教育機関、食育応援団、地域、企業等と連携し、より効果的な普及啓発を実施していく。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>
			対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																													
			実施状況	○																																																	
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																
発行状況	4回																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																
講師派遣マッチング件数	13回																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																
実施状況	○																																																				
<p>○食品の栄養表示や虚偽・誇大広告について表示の適正化を図るほか、消費者へ適切な情報提供がなされるよう事業者及び消費者に普及啓発を</p> <p>・事業者への相談・指導の実施(食と暮らしの安全推進課分)</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>141件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>疑義情報件数</td> <td>18件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち指導件数</td> <td>5件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・事業者への相談・指導の実施(健康推進課分)</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>相談・指導件数</td> <td>137件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普及啓発実施回数</td> <td>15回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普及啓発参加人数</td> <td>603人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	相談件数	141件					疑義情報件数	18件					うち指導件数	5件					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	相談・指導件数	137件					普及啓発実施回数	15回					普及啓発参加人数	603人					健康推進課 (食と暮らしの安全推進課)	<p>【自己評価】 食品表示について、事業者向け説明会等の開催やリーフレットの配布等により広く周知を図ることができた。</p> <p>【課題と今後の対応】 引き続き、食品関連業務者等から相談対応や普及啓発を行う。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>			
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																
相談件数	141件																																																				
疑義情報件数	18件																																																				
うち指導件数	5件																																																				
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																
相談・指導件数	137件																																																				
普及啓発実施回数	15回																																																				
普及啓発参加人数	603人																																																				
<p>○行政・教育機関のほか食育応援団、地域、企業等と連携した効果的な普及啓発を図る。</p> <p>・各圏域における地域の食育推進事業の実施</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					健康推進課 (消費生活・文化課)	<p>【自己評価】 コロナ感染症拡大の影響で、活動は制限されたが、各圏域において関係機関と連携し県民に周知した。</p> <p>【課題と今後の対応】 今後も関係機関と連携し、広く県民に周知を図る。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>																																							
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																
実施状況	○																																																				

施策	推進	取組	事業内容・実施状況	担当課等	自己評価等																																															
2	(4)	②	食育との連携	<p>○望ましい食生活の普及や地産地消の推進、食遺品の安全性に関する知識や理解等の消費者教育の取組を推進する。</p> <p>・高校生地産地消お弁当コンテストの開催。</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・食材王国みやぎ「伝え人」を小学校、中学校等に派遣。</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>派遣状況</td> <td>23件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	派遣状況	23件					食産業振興課	<p>【自己評価】 食材王国みやぎ「伝え人」を学校等へ派遣するとともに、高校生地産地消お弁当コンテストを開催し、地産地消の意識向上と県産食材の理解促進に繋がった。</p> <p>【課題と今後の対応等】 食材王国みやぎ「伝え人」活用促進事業については、講座内容をHPやパンフレット等で情報発信する。高校生地産地消お弁当コンテストについては、各高等学校に積極的に事業内容をPRする。飲食店や小売店などの県内食産業と連携して地産地消を推進する。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>																						
			対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																												
		実施状況	○																																																	
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																															
派遣状況	23件																																																			
保健体育安全課	<p>○食品について正しい選択ができる児童・生徒の育成のため、栄養教諭に対する研修会を行い学校給食を通して食に関する指導の充実を図る。</p> <p>・栄養教諭・学校栄養職員に対する研修会を実施。</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>学校給食研究協議会(オンライン)</td> <td>123人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>食に関する指導推進研修会</td> <td>オンライン 32人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>オンデマンド 176人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	学校給食研究協議会(オンライン)	123人					食に関する指導推進研修会	オンライン 32人						オンデマンド 176人					<p>【自己評価】 地場産物を使用した学校給食の提供及び食に関する指導の充実を図ることで、児童生徒の食品選択に関する知識習得を促し、消費者教育の一端を担うことができた。</p> <p>【課題と今後の対応等】 今後も地場産物を使用した学校給食の提供及び食に関する指導の充実を図る。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>																										
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																															
学校給食研究協議会(オンライン)	123人																																																			
食に関する指導推進研修会	オンライン 32人																																																			
	オンデマンド 176人																																																			
③	法教育との連携	<p>○弁護士会や司法書士会と連携し、法律授業をはじめとした法教育を推進</p> <p>・消費者教育講師派遣事業の実施。</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>授業実施回数</td> <td>26団体</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>3,391人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○より多くの学校において、法教育が効果的に進められるよう、弁護士会や教育部門と連携した取り組みを進める。</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○大学等と連携して、消費生活に関する講義等を行い、若年層に対して消費者問題について学ぶ機会を与える。</p> <p>・消費者教育講師派遣事業</p> <table border="1"> <tr> <td>対象年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>実施校数</td> <td>26団体</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>3,391人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	授業実施回数	26団体					参加人数	3,391人					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○					対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施校数	26団体					参加人数	3,391人					消費生活・文化課	<p>【自己評価】 希望している学校に弁護士を派遣することにより法教育を推進することが出来た。</p> <p>【課題と今後の対応】 今後も関係機関と連携し、法教育の推進を進めていく。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>
	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																														
授業実施回数	26団体																																																			
参加人数	3,391人																																																			
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																															
実施状況	○																																																			
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7																																															
実施校数	26団体																																																			
参加人数	3,391人																																																			

施策	推進	取組	事業内容・実施状況	担当課等	自己評価等													
2	自立した消費者の育成	(4) 関係施策等との連携	④ 金融経済教育との連携	○広報誌の発行、教材やパンフレットの作成・配布、ビデオ・DVDの貸出等により、金融教育の普及を図る。	消費生活・文化課 (金融広報委員会)	<p>【自己評価】 宮城県金融広報委員会が作成した金融教育教材「若者の心得」や「ポケット版携行資料」、「お金のひみつ」、金融広報中央委員会が作成した「18歳までに学ぶ契約の知恵」や各種指導書等について、高等学校や小中学校担当教諭への配布など、金融経済教育の取組みにおける活用を働きかけた。</p> <p>令和3年8月及び令和4年1月の成人式における「新成人のための人生とお金の知恵」配布について各市町村に働きかけを行い、積極的な活用を図った。令和4年度の成人式では、さらに多くの市町村における活用配布について積極的に呼びかける。</p> <p>学校、市町村、各種団体等と連携し、県内各地で金融・経済講演会を開催、金融経済に係る知識の普及を図るなど、金融リテラシーの向上に取り組んだ。</p> <p>【課題と今後の対応等】 成年年齢の引き下げに伴い、主に対象となる高校生を想定し、18歳までに身に付けておきたい契約の知識を中心とした正しい情報を、多くの機会を捉えて提供する必要があるとともに、指導者や教育機関をサポートしていくことが重要となる。また金融教育教材を積極的に活用してもらおう、教育機関等関係機関や市町村へ働きかける。</p> <p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>廃止</p>												
				<table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>			対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○				
				対象年度			R3	R4	R5	R6	R7							
				実施状況			○											
				○幼稚園を金融教育研究校に委嘱し、公開授業(保育)や教員による研究発表等の取組を通じて、金融教育の普及推進を図る。														
<table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○										
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7													
実施状況	○																	
○学校の授業や行事等に講師を派遣し、生徒・教員・保護者等を対象に金融(金銭)教育を行う。																		
<table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○										
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7													
実施状況	○																	
○関係団体と連携し、金融経済等に関する知識の普及を図るため、保護者等に対して講演会を開催する。		<table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○								
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7													
実施状況	○																	
○金融教育の進め方について教師の指導能力向上のためのセミナーやワークショップ等を開催する。		<table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○								
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7													
実施状況	○																	
○出前講座等を活用しながら、生活設計など最低限身に付けるべき金融リテラシーについて、早期の学校教育期から関心が持てるよう、金銭・金融教育の取組を進める。		<table border="1"> <tr><td>対象年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>実施状況</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	対象年度	R3	R4	R5	R6	R7	実施状況	○								
対象年度	R3	R4	R5	R6	R7													
実施状況	○																	